

コース	教員氏名	講義テーマ	受講対象	講義概要
学長	大森 昭生	①生徒対象:SDGsと男女共同参画 ②生徒・PTA対象:予測困難な時代に求められる力と学び ③教職員対象:総合的な探究の時間とカリキュラムマネジメント	①生徒 ②生徒・PTA ③教職員	①SDGsのゴールの一つにジェンダーがあります。男女共同参画は世界的な課題であり、私たちの暮らしの問題もあります。生徒さん一人一人の「生きること」にとって手も大切な視点であるとともに、グローバルな社会課題に広い視野で向き合うことの重要性も知っていただきたいです。 ②AIなど科学技術が進展するSociety5.0の時代は、予測困難な時代ともいわれます。この時代に私たちはどう学び、何を身につけるべきなのか。委員として参画していた経団連の会議のまとめなども参照しながら、今、社会が実際のどう変わっているのか、大学教育はどう変わっているのか、大学入試がどう変わっていくのかも踏まえて、高校生の皆さんはもちろん、保護者の皆様とも共有できるお話をさせていただきます。 ③新学習指導要領で求められる「探究」、そしてその先にあるカリキュラムマネジメント。文部科学省の中央教育審議会教学マネジメント特別委員会専門委員としての知見も踏まえながら、探究の理論、高校における探究の実例、大学での取組、そして、チーム学校としての社会に開かれた教育課程とカリキュラムマネジメントなど、これからの高等学校教育に求められるテーマをお話いたします。
学部共通	杉沢 一美	銀行とは何だろう？	生徒	高校生の皆さんは、銀行を利用したことがなくても、銀行について何らかのイメージをすでに持っていることでしょう。では、皆さんの持つイメージはどこまであっているか、ここで確認してみませんか。たとえば、預金とはそもそも何でしょう。地域にはどんな「銀行」があり、そのルーツは何でしょう。
	西舘 崇	平和ってなに？	生徒	()+()=平和。()を自由に埋め、その理由について述べなさい。このような問題が出たら、皆さんはどう答えますか。本講義では「平和学」の父と呼ばれるヨハン・ガルトウング氏について紹介しながら、彼が提起した二つのタイプの平和一消極的平和と積極的平和一についてお話します。その上で、今日の世界における様々な問題(紛争やテロ、環境問題、貧困問題等)を、平和の創造という観点から多角的に考えます。最後に、受講者一人一人が考える平和についての「一言発表」を行います。
	LARSON John Matthew	Recycled News	生徒	最近のニュース記事を教材として使い、英語の勉強をします。ペアがそれぞれ別のニュース記事を読み、日本語でメモを取ります。次に、その日本語のメモをもとに、記事の内容を英語でまとめ、パートナーに伝えます。その後、二つの記事の内容に関するクイズを行い、最後にニュース記事に関連した問題についてディスカッションを行います。
英語	小林 恵美	英語のコミュニケーション能力について考えよう	生徒	英語で日常会話ができる力とはどういった力だと思いますか。単語や文法といった知識があり、適切な発音ができるだけで十分なのでしょうか。この授業では、英語のコミュニケーション能力について考えます。講義だけでなく、参加者の意見を聞いたり、英語でグループワークを実施したりします。
	篠原 美登里	コミュニケーション論入門	生徒	コミュニケーションの実態について、基礎的なことから理解します。その理解に基づいて、日常生活を見直し、各自が自分を最も活かせるコミュニケーション・スキルを身につけるための具体的な方法を考えます。
	藤枝 豊	World Englishes-多様化する英語-	生徒	英語は今では「世界共通言語」と言われています。多くの国で英語が使用され、その英語も独特な特徴(発音、表現、文法など)を持っています。この授業では世界で英語がどのように位置付けられているのかを考え、「多様化された英語」を紹介します。
	DESROSIERS Lori Ann	Sounds Cool !	生徒	日本語話者と同じように、英会話者も会話で「あいづち」を使います。これは、相手の話を聞いていることや相手の話に興味を示していることを表現しています。本講義では、こういった「あいづち」とは何かを学び、スポーツを題材にその使い方を学習します。
	園田 敦子	英語学習と第二言語習得理論	生徒	英語学習に行き詰まった時、「英語が母語だったら」と一度は考えたことがあるのではないのでしょうか。母語(第一言語)と第二言語習得の違いに目を向けながら、英語をどのように学ぶとよいのか、一緒に考えましょう。講義では第二言語習得理論を簡単に紹介します。
国際	大森 昭生	男女共同参画と人権～男女共同参画社会をめざして	生徒	1)男女共同参画社会ってどんな社会？ 2)男女共同参画の現状と取り組みについて知ろう！～HDIとGEM・M字曲線・男女の生活時間・性別役割分業・女性差別撤廃条約・ILO156号条約・男女共同参画社会基本法・男女雇用機会均等法・育児・介護休業法・etc…～ 3)男女共同参画社会へ向けて私たちにできること
	謝 志海	グローバル化とは	生徒	最近グローバル化という言葉が毎日のように耳にするが、実際のところグローバル化とはなんなのか？簡単に言えば、国境を越えて地球規模でつながるとのことだが、この講義では、みなさんと一緒にグローバル化についてもう少し具体的に考えていきます。例えば、経済的にヒト・モノ・カネが流動している様子などをわかりやすく説明していきます。また、グローバル化の問題点や反グローバル化とはなにかについても講義します。
	呉 宣児	お金をめぐる日韓中越の子どもの生活世界	生徒	グローバルの動きが広がるなか、異文化理解・多文化共生という言葉もよく耳にするようになりました。4か国を歩きながら子どもや親たちに聞いてみました。「子ども同士でおごり合いをすることは良いこと？悪いこと？どうしてそう思う？」この質問に対する4か国の子どもや親の答えは個々人違いますが、国ごとに同じパターンが見えてきました。つまり、常識が違うことが多く見つかるわけです。常識が異なる人が別々に住むときは問題は大きくないかもしれませんが、常識が異なる人々が同じ地域・国で済むときはどうすればいいのでしょうか。そのような問題について一緒に考えていきます。

コース	教員氏名	講義テーマ	受講対象	講義概要
国際	丹羽 充	人間と言語	生徒	グローバル化が進む中、外国語を身につけることが求められるようになってきました。その際によく聞かれるのが、意思疎通の「道具」としての言語の重要性です。しかしながら言語は、単なる「道具」に過ぎないのでしょうか。近年の人文社会の諸学は言語について、それが、人間によって「道具」として使われるものであるというよりは、むしろ人間を構築するものであることを明らかにしてきました。この講義では主に文化人類学の研究成果に基づき、言語と人間の関係について考えます。
	前川 智美	オーストラリアの環境問題と地域コミュニティ	生徒	「オーストラリア」と聞くと、コアラやカンガルー、美しい海や熱帯林など、太古からの豊かな大自然をイメージするかもしれません。この講義では、現地の写真やインタビュー結果を基に、知られざるオーストラリアの深刻な環境問題と、その解決に向けた活動に取り組む地域コミュニティについて、紹介します。外国(オーストラリア)を知ることを通じて、日本の環境問題と地域コミュニティについても考えてみましょう。
	栗原 美紀	人が観光する理由	生徒	現代では、移動手段や情報ネットワークが発達し、観光がより身近に感じられるようになりました。平日に勉強や仕事を頑張る一方で、観光は休日に行うことが多く「楽しむためのもの」と思われていますが、実は観光行動がおこる背後には、心理的・社会的・文化的・政治的・経済的要因が絡み合っています。そこで、「人はなぜ観光に出かけるのか」を出発点として、現代社会を生きる私たちがどのように自分自身の行動を選択しているのかについて考えていきます。
	山手 昌樹	イタリア料理と移民	生徒	ピザやパスタといったイタリア料理は世界中で食べられています。それではどのような経緯でイタリア料理は世界中に広まったのでしょうか。本講義では19世紀末から20世紀前半のイタリアの歴史をたどりながら、その経緯を探るとともに、歴史学研究の可能性についてみなさんと考えていきます。
情報・経営	小柏 伸夫	インターネットの過去、現在、未来	生徒	インターネットはどのようにして始まったのか？どのような変遷を遂げてきたのか？どのようにして動いているのか？どのようにして作られているのか？そして未来のインターネットはどのようになるのか？インターネットの過去から現在、インターネットの舞台裏、インターネットの変わらない部分、変わり続ける部分を知り、インターネットの変化に対応できる知識を身に付け未来のインターネットについて考えます。
	兼本 雅章	需要曲線は右下がり？！	生徒	高校の教科書を見ると、需要曲線の図は必ず右下がりになっています。その理由として、消費者は価格が安ければたくさん買おうとし、価格が高ければ買い控えようとするから、となっています。果たして、本当に需要曲線は「いつも」右下がりになるのでしょうか。そこで、この講義では、需要曲線がどこから出てくるのかを、『ミクロ経済学』の見地から簡単なグラフを使って考え、その形について検証をします。
	神宮 貴子	わたしたちの生活を支える「仕組み」とその「効率化」	生徒	わたしたちが手にするモノや受けるサービスはどのように作られ、運ばれ、手元に届くのでしょうか。わたしたちの生活を支えるこれらの「仕組み」と、必要とされる「技術」は時代と共に変化してきています。まずはこの「仕組み」とは何なのか、どのようなものがあるのか、事例を交えて紹介します。最近では、わたしたち顧客がモノやサービスに求めるもの、手に入れるタイミング、方法などは多様化し、より複雑な「仕組み」が必要になってきています。その「仕組み」をいかに「効率化」するのかということが、非常に重要になっているのです。では、「効率化」ということはどういうことなのか、具体的な例を挙げて一緒に考えてみましょう。自分の生活や社会の様子が、今までとは異なった視点から見ることができるようになるでしょう。
	村山 賢哉	高校のクラスという「組織」を経営学的視点で捉える	生徒	<皆さんのクラスは「活性化」していますか？>そもそも、「活性化したクラス」って、どのような状態でしょうか。「授業の時にたくさん手が挙がること」や「体育祭で盛り上がること」など、色々なシチュエーションが考えられるかもしれません。この講義では、「組織活性化」という経営学の視点を使って、クラスという組織を活性化させていくためのアプローチについて考えていきます。
心理・人間文化	奥田 雄一郎	心理学ってなに？	生徒	現代社会において、心理学という学問の研究知見はみなさんの身の回りの至るところで使われています。しかし、そうした心理学という学問は、様々な学問の中でも最も誤解されている学問の一つでもあります。本講義では、心理学とは何か、というテーマについて、心理学の歴史、様々な心理学研究領域、身の回りで使われている例などをあげながら、大学における心理学研究についてお話します。
	野口 華世	昔の人のメッセージ—歴史学とはどのような学問か—	生徒	歴史は暗記？なのではないでしょうか。そんなことはありません。解読、謎解き、どちらかというとミステリー？、学問としての歴史学に触れてみましょう。
	西川 正也	フランス入門	生徒	みなさんにとって一番よく知っている外国とは、どこでしょうか。アメリカ？イギリス？中国？韓国？この授業では、知っているようで実はあまり知らない国「フランス」について考えるとともに、ほんの少しだけフランス語を話す練習をしてみます。
	松本 学	聞くこと、語ること	生徒	私たちは日常生活の中で、家族、友達、先生等多くの人たちとコミュニケーションを行っています。しかし、こうしたコミュニケーションにおいてお互いのことをよりよく知るためにどんな工夫をしているのでしょうか。この講義では、聞く・語るという私たち誰もがこなしているあたりまえことについて光を当てて、心理学的理解を深めるとともに、お互いをよりよく知るためのカウンセリングの基礎を学びます。
	古澤 健太郎	こんなところにもキリスト教	生徒	私たちの日常生活は「宗教」から強い影響を受けています。中でも「キリスト教」は、とても強い影響力を持っていながら、それがキリスト教由来であることに気づきにくい、という特徴を持っています。「豚に真珠」、「目から鱗」は聖書の言葉。流行のあの漫画は聖書的？この制度の由来はキリスト教？さまざまな視点から、私たちの生活と深く関わるキリスト教について考えます。

コース	教員氏名	講義テーマ	受講対象	講義概要
心理・人間文化	唐 音啓	自分らしさについて考えてみよう！	生徒	「自分らしさ」という言葉から、みなさんはどのようなことを思い浮かべるでしょうか。また、例えば、人によって考え方や感じ方、同じような状況でとる行動などが異なることに、疑問を感じた経験はありますか。本講義では、「自分らしさ」や「その人らしさ」について、心理学の視点から考える分野である、人格心理学についてお話しします。
児童教育	後藤 さゆり	学校ってなんだろう	生徒	教育に関心のある高校生向けの授業です。教育について「学校とは何か」という問いから考えます。「学校」という制度が始まった時と現在では「学校」で学ぶ内容や通う意味が変わっています。教育期間の長期化が若者の大人になることを遅らせているという指摘もあります。時代と共に変化する学校の在り様を通して、教育について考えます。
	佐藤 高司	「ぐんま方言かるた」で群馬の方言を知ろう	生徒 PTA 教職員	「ぐんま方言かるた」とりをします。その後、「ぐんま方言かるた」に使われた方言をもとに、群馬方言の特色をわかりやすく解説します。また、ご要望があれば、これまでの日本社会が方言をどのようにみてきたのかその変遷を学びます。
	張 信愛	韓国の教育事情	生徒	「韓国の児童生徒は、学校で何をどのように学んでいるだろうか」韓国の教育制度や学校現場の様子を紹介します。その際、日本の学校教育との共通点や相違点を検討し、そこから教育学を研究することの楽しさについてお伝えします。
	八桁 由布樹	音楽から多文化共生について考えてみよう	生徒	さまざまな音楽に体験的に取り組むことを通して、多様性の尊重について考えます。多文化共生と音楽の視点から、生徒の興味・関心に合うように内容を工夫してとりくみたいと思います。沖縄の音楽や、外国につながる方々が大切にしてきたさまざまな音楽(わらべうた、ポピュラーなども含む)の面白さや楽しさを味わう音楽活動、1人ひとりの音楽性の違いに気づき尊重できるようになるためのワークなど、先生方や生徒のご希望に沿うような活動を一緒に考えていきたいです。